



所沢市議会 議会評価報告書

平成29年6月

1 趣旨

所沢市議会は、平成21年3月の議会基本条例施行以後、さまざまな取り組みを実施してきた。

その中で、毎年度、市民の負託に応えられる議会の実現及び議会運営の活性化を図るとともに、説明責任を果たすため、所沢市議会が実施する事業及び議会改革について、基本条例に基づき所沢市議会議会評価を行ってきた。

平成25年4月1日からは、さらに実効性を高めるために所沢市議会議会評価の実施に関し必要な事項を定めた所沢市議会議会評価実施要綱を制定した。

本報告書は、議会運営委員長及び広聴広報委員長がそれぞれ下記の期間において所管した事業等について自己評価を行いその結果を取りまとめたもので、今後の取り組みに活かし、更なる改善を図っていくものとする。

2 評価対象期間

平成28年6月から平成29年5月までの期間

3 評価対象事業等

(1) ◆議会運営委員会所管

- 「平成28年度政策研究審議会への諮問と答申」
- 「平成28年度議会運営委員会視察」
- 「平成29年第1回定例会における取り組み」
- 「議会改革に関する視察受け入れ」

◆広聴広報委員会所管

- 「政策討論会の開催」
- 「みみ丸カフェ 2016 の開催」
- 「議場コンサートの開催」
- 「政策研究審議会への諮問事項に係る市民提案の募集・審査」

(2) 所沢市議会基本条例に規定する項目に対する評価（達成度及び方向性）

4 評価結果

別紙のとおり

議会事業評価表

事業名	平成28年度 政策研究審議会への諮問と答申				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
1 背景					
<p>所沢市議会で初となる常設型の審議会設置に向けた協議を議会運営委員会にて行い、平成28年第1回定例会において「所沢市議会政策研究審議会条例」を議員提出議案にて全会一致で可決。同年4月1日施行となった。</p> <p>これをうけて平成28年度における政策研究審議会に対して以下のとおりの諮問を行い、それに対する答申を受け、以後の参考とした。</p> <p>(1) 諮問事項</p> <p>①大学生等の消防団への入団促進策について（総務経済常任委員会提出）</p> <p>②議会評価について（議会運営委員会提出）</p> <p>③選挙年齢引き下げに伴う大学生による教育プログラムの構築について（広聴広報委員会提出）</p> <p>(2) 議会運営委員会への答申について</p> <p>議会運営委員会からの諮問事項である「議会評価について」は、議会基本条例制定以降、現在の自己評価を毎年実施しているが、外部からの視点も評価に取り入れたいことについて諮問した結果、評価フォーマットの見直しと評価するための情報量確保が大事である旨の答申があった。</p>					
2 今後の対応					
<p>今回の答申を受け、議会運営委員会所管の「議会評価について」は、フォーマットの見直しと情報量提示についての在り方を協議事項に加え、今後積極的に協議していくものとする。</p>					
3 評価					
議会として政策研究審議会への諮問と答申については継続の『2』と評価する。					
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭				

議会事業評価表

事業名	平成28年度 議会運営委員会視察				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
1 視察期間 平成28年7月25日（月） 平成29年1月17日（火）～1月19日（木）					
2 視察先及び視察事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 神奈川県横須賀市議会「予算決算常任委員会について」 ● 東京都北区議会「聴覚障害者支援システムについて」 ● 岩手県滝沢市議会「予算決算常任委員会について」「議会評価の在り方について」 ● 北海道函館市議会「議会活性化検討会議について」 					
3 参加委員 委員長 福原 浩昭 副委員長 近藤 哲男 委員 荒川 広、小林 澄子、石本 亮三、赤川 洋二、植竹 成年 青木 利幸、入沢 豊、桑畠 健也、中村 太 中 毅志 議長、荻野 泰男 副議長					
4 視察概要 内容については別途議会ホームページに公開した「視察報告書」を参照とする。 http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/shigikai/tokubetuinkaijyouhou/sisatugaiyo/giun_shisatu.files/29.1.17.19giunsisatu.pdf					
5 評価 議会運営委員会として、議会運営に関する事項の委員会視察を毎年積極的に行ってきた。今年度の視察は特に優先とすべき議会評価、予算委員会の常任委員会化などを中心に、実際の現場での苦労話や導入に当たってのいきさつなどの説明を丁寧に受けるとともに質疑応答を実施。 さらに地元議員との意見交換も効果的にでき、今後についても積極的に実施していくべきとし継続の『2』とする。					
委員長名	議会運営委員長 福原 浩昭				

議会事業評価表

事業名	平成29年第1回定例会における取り組み				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
1 背景					
<p>これまで、本市議会では当初予算審議（第1回定例会）において、一般質問における予算への関与、質疑の中で意見を述べた際などの動議により、スムーズな議会運営ができない場面が多々あった。平成29年第1回定例会では委員12人の選抜型による予算特別委員会を設置のうえ、試行的な日程の取り組みを以下のとおり実施し、閉会後の議会運営委員会にて総括を行い、次回の議会運営の協議の参考とした。</p>					
2 試行的取り組み					
<p>(1) 本会議での「質疑」と「一般質問」の日程枠を「質疑及び一般質問」とし、試行的に回数制限を撤廃。また、日程を4日間としたことから通告者を20人（5人×4日）に設定するとともに、質疑においても書面による通告制とした。</p> <p>(2) 先議分と当初分の議案説明やヒアリングを同時に実施。</p> <p>(3) 通告書形式の見直し</p> <p>(4) 予算特別委員会日程を4日間とした。（別途委員会予備日を1日間設定）</p>					
3 評価					
<p>議会運営委員会にて各会派からの意見をもとに総括を行い、第1回定例会については、課題の一つであった議事進行に関する発言もなくスムーズな議会運営が行われたことを確認できた。そのため、来年の当初予算審議を含め、今後の議会におけるスムーズな運営と充実した審議に向け、評価は継続の『2』とする。</p>					
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭				

評価日：平成29年 6月 2日

議会事業評価表

事業名	議会改革に関する視察受け入れ				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
1 背景と経過					
<p>本市議会は、平成21年3月に議会基本条例を制定し、毎年議会改革に取り組んできた。こうした本市議会における議会改革や議会運営の取り組みに対し、他市町村議会から多くの視察の申し入れがあり、本市議会としても情報共有により、より広い視点から課題を捉え直す機会と受け止め、継続的に数多くの視察の受け入れを行っている。なお、今評価期間の議会に関する視察の受け入れに当たっては、議会運営委員会の委員のほか、広聴広報委員会の委員などが対応した。</p>					
2 概要					
	年度	視察受入件数	受入人数	対応議員数	
	平成24年度	43件	446人	62人	
	平成25年度	36件	375人	76人	
	平成26年度	30件	323人	78人	
	平成27年度	22件	212人	52人	
	平成28年度	28件	314人	58人	
3 今後の方向性と評価					
<p>例年どおり、視察の受け入れでは、対応において、視察事項と関連づけて議会改革や議会運営の評価方法、政策形成サイクル、議会ICT化などについて話す機会があり、本市議会における議会改革の取り組みについて、PRする機会にもなっている。また、他市町村議会の議員との情報共有を図ることもでき、更なる議会改革の契機の1つにもなっている。今後においても、議会改革を進めるとともに、本市議会での取り組みの積極的な周知と視察受入件数の増加を目指し、評価は、『2』の継続とする。</p>					
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭				

評価日：平成29年6月2日

議会事業評価表

事業名	政策討論会の開催				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】 根拠例規：所沢市議会基本条例第14条					
1 背景と経過 市長等から提出された議案に限らず、特定のテーマについて、各議員が活発に意見等の交換を行い、共通認識を醸成するため、平成24年から毎年開催している。 平成26年に「所沢市議会政策討論会設置要綱」の見直しが行われ、同年8月27日に「政策討論会実施要綱」が策定されたことにより、広聴広報委員会で所管することとなった。なお、同要綱には政策討論会を委員会で実施できることが盛り込まれ、平成27年度、平成28年度は常任委員会により開催された。					
2 概要 平成29年1月21日に開催した政策討論会は、要綱第4条に規定される委員会における実施について、健康福祉常任委員会の閉会中の特定事件「子ども支援について」のうち「子どもの貧困について」の審査の一環として開催した。 第1部では東京都足立区子どもの貧困対策担当部長 秋生修一郎氏を講師に迎えての基調講演、第2部では委員会の活動を通じて見えてきた所沢市の現状について委員からの発表、第3部では委員8人が討論を行い、56人の方々にご参加いただいた。 なお健康福祉常任委員会ではこの政策討論会を含め、実施してきた委員会活動を踏まえ、平成29年3月定例会で「子どもの貧困対策に関する提言」を行い、また国に対し「子どもの貧困対策の推進と強化を求める意見書」を提出した。					
3 今後の方向性と評価 常任委員会で開催できるようになり、政策形成サイクルに位置づけられた政策討論会としての機能をより果たせるようになった。 今後も、政策立案や提言など、政策形成につなげていくことが求められることから、評価は2の継続とする。					
委員長名	広聴広報委員長 西沢 一郎				

評価日：平成29年 6月 2日

議会事業評価表

事業名	みみ丸カフェ 2016 の開催				
評価	1	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第 22 条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議会をより身近に感じていただき、興味を持っていただくため、また議会の広聴広報機能強化の一環として、ワールドカフェスタイルによる市民と議員との懇談会「みみ丸カフェ 2016」を、平成 28 年 7 月 31 日に開催した。</p> <p>2 概要</p> <p>ファシリテータに早稲田大学人間科学学術院教授 扇原 淳氏を迎え、無作為抽出による市民など 30 人、早稲田大学の学生 13 人、広聴広報委員 11 人の合計 54 人が参加した。参加者は地元のゆるキャラ名を冠した 10 テーブルに分かれ、意見交換を 3 ラウンドにわたり行い、その後、個人意見のまとめとして意見交換を終えた後の個人の意見をそれぞれが付箋に記入し、会場前方に用意された模造紙に貼付した。（各ラウンド、個人意見のまとめのテーマについては参照）</p> <p>また預かり保育、茶業協会の協力による所沢産の狭山茶の提供、会場装飾、議員の仮装、BGM、アロマなどにより、参加しやすく話しやすい環境づくりを行った。</p> <p>第 1、2 ラウンド：あなたが思う、所沢市の魅力や自慢できるものは何ですか？</p> <p>第 3 ラウンド：所沢市にあるものを生かして、さらに魅力あるまちにしていくためにはどうしたらいいと思いますか？</p> <p>個人意見のまとめ：所沢市がさらに魅力あるまちとなるために、あなたができることは何ですか？</p> <p>3 今後の方向性と評価</p> <p>無作為抽出により、これまであまり議会と関わる機会がなかった市民が参加し、また早稲田大学や市内の高校からは学生が参加し、概ね好評であった。当日出た意見の活用等が課題であるが、18 歳選挙権の関係など、今後さまざまな形で展開、活用できる可能性を持つツールであることから、評価は 1 の拡充とする。</p>					
委員長名	広聴広報委員長 西 沢 一 郎				

議会事業評価表

事業名	議場コンサートの開催				
評価	2	1 拡充	2 継続	3 改善	4 縮小
		5 終了	6 休止	7 廃止	
【評価説明】 根拠例規：所沢市議会基本条例第22条 1 背景と経過 議会をより身近に感じていただき、また興味を持っていただくとともに、議会の傍聴を促すことを目的に、平成27年12月定例会初日の開会前に所沢市議会初開催65周年を記念し、所沢市議会議場コンサートを初めて開催した。 市内で活躍する音楽家や学生に演奏を依頼し、コンサートの様子をインターネット中継するほか、市庁舎1階ロビーおよび8階大会議室前に設置したモニターで配信している。 2 概要 平成28年12月定例会初日の開会前に開催したコンサートでは、埼玉県立芸術総合高等学校音楽科の生徒によるフルート二重奏を行った。 3 今後の方向性と評価 議会をより身近に感じてもらうための議場を活用した事業の一つであり、概ね好評である。また市内で活躍する音楽家や学生への演奏の場の提供といった視点も含め、今後も継続していくべきであることから、評価は2の継続とする。					
委員長名	広聴広報委員長 西沢 一郎				

評価日：平成29年 6月 2日

議会事業評価表

事業名	政策研究審議会への諮問事項に係る市民提案の募集・審査				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】 根拠例規：所沢市議会基本条例第22条 所沢市議会政策研究審議会条例第2条第1項第2号					
1 背景と経過 議会と大学等研究機関との連携を通じて議員研修の充実強化を図り、もって更なる議会機能の強化と議会の活性化に資するために平成28年4月に所沢市議会政策研究審議会を設置した。 所沢市議会政策研究審議会条例に規定される政策研究審議会への諮問については、常任委員会等からの提案によるもののほか、市民提案の方法によるものも予定されていたことから、その募集の方法等について、広聴広報委員会で決定することとなった。					
2 概要 平成29年度に開催が予定されている政策研究審議会への諮問に向け、平成28年12月から広聴広報委員会で協議を重ね、平成29年4月、「住みたいまち 所沢 一人口減少時代を見据えて」をテーマに、所沢市内に在住・在勤・在学中の個人を対象に政策提案の募集を行った。その結果、2件の提案が提出され、同年5月に提案2件の審査を行い、いずれも諮問事項としないことを決定した。					
3 今後の方向性と評価 広聴広報委員会では、政策提案の募集から審査までを行った。市民の声を、議会を通じて市政に反映させるための取組として、政策研究審議会への諮問事項となる市民提案の募集や審査といった役割を広聴広報委員会が担っている。今後も政策研究審議会の動きに合わせ、効果的・効率的な募集や審査を行っていく必要があることから、評価は2の継続とする。					
委員長名	広聴広報委員長 西沢 一郎				

評価日：平成29年 6月 2日

議会改革評価表 (平成28年6月～29年5月)

1 所沢市議会基本条例に規定する項目の評価

No.	項目	議会基本条例該当条文	進捗状況又は実績	評価		備考
				達成度	方向性	
1	目的	第1条				
2	議会の役割	第2条				
3	議会の活動原則 (公正性・透明性・信頼性) (情報公開・説明責任)	第3条	議会事業評価の公表	○	継続	
			常任委員会会議録の公開	○	継続	
			議員の賛否を公開	○	継続	広報紙に掲載
			説明責任	○	継続	政務活動費の公開
			市民にとってわかりやすい議会運営	○	継続	
4	議員の活動原則	第4条				
5	会派	第5条				
6	市民参加及び市民との連携	第6条	会議の原則公開	○	継続	非公開・秘密会なし
			公聴会	—	継続	本評価期間中対象案件なし
			参考人制度	○	継続	議案審査において(平成28年9月市民文教常任委員会)、請願審査において(平成29年3月健康福祉常任委員会)参考人招致
7	議会報告会	第7条	4回開催 (11月・5月各2回)	○	継続	広聴広報委員会所管
8	意見提案手続	第8条		—	継続	本評価期間中対象案件なし
9	議員と市長等 執行機関の関係	第9条	一般質問仮通告	○	継続	平成25年9月定例会から実施
			質疑及び一般質問	○	継続	平成29年3月定例会で試行的に実施
10	議決事件の追加等	第10条				
11	閉会中の文書による質問	第11条	文書による質問	○	継続	所沢市の子どもへの貧困に関する質問
12	議会審議における論点情報の形成	第12条		○	継続	
13	議員間の自由討議	第13条		○	継続	議会運営委員会・広聴広報委員会
14	政策討論会	第14条	テーマ「子どもの笑顔輝く未来へー子どもへの貧困対策についてー」	○	継続	平成29年1月21日実施(健康福祉常任委員会)参加者56名
15	委員会の運営等	第15条	政策提言	○	継続	平成28年9月地方創生に関する特別委員会、平成28年12月総務経済常任委員会(2件)、平成29年2月総務経済常任委員会、平成29年3月健康福祉常任委員会
			正副委員長連絡協議会	○	継続	各定例会で合計8回実施
16	議会運営委員会	第16条	平成29年3月定例会	○	継続	質疑及び一般質問、予算特別委員会の設置
17	政務活動費	第17条	ホームページ上の公開	○	継続	平成26年5月から公開

18	議員研修の充実強化	第 18 条	議員研修の実施	○	継続	「子どもの貧困について」、「一般質問・政策形成に使える議会図書室」、「人口減少時代における地方創生について」、「地域のための図書館とは～図書館の本来と将来を考える～」
19	議会事務局の機能強化	第 19 条	13人(平成29年4月1日)	×	拡充	所沢市職員定数条例の定めによる事務局職員定数 14人
20	予算の確保	第 20 条		×	拡充	タブレット、ICT推進
21	議会図書室	第 21 条	図書の充実	○	拡充	広聴広報委員会所管
22	議会広聴広報の充実	第 22 条	広報紙・HP等による公表の充実 みみ丸カフェ	○	拡充	
23	専門的識見の活用	第 23 条	専門的識見の活用	×	継続	
24	附属機関の設置	第 24 条	政策研究審議会	○	継続	平成28年7月、11月
25	議員の政治倫理	第 25 条	政治倫理条例等の遵守	○	継続	
26	議員定数	第 26 条	平成27年4月の一般選挙における定数は33人	○	継続	
27	議員報酬	第 27 条				
28	災害時における議会の活動	第 28 条	災害対策会議	○	継続	平成28年8月30日(8月22日に発生した台風第9号の被害状況について)
29	他の自治体の議会との交流及び連携	第 29 条		○	継続	視察受入28件
30	議会評価	第 30 条		○	継続	平成28年6月6日
31	見直し手続	第 31 条				

2 議会改革の取組状況

開催議会	進捗状況及び実施事業	項目	該当条文
平成28年6月定例会	議会基本条例の一部改正	見直し手続	第31条
	市民文教常任委員会による提言	委員会の運営等	第15条
	総務経済常任委員会による付帯決議	委員会の運営等	第15条
平成28年7月臨時会	健康福祉常任委員会による付帯決議	委員会の運営等	第15条
閉会中	議員研修会「子どもの貧困について」開催(7/13)	議員研修の充実強化	第18条
	予算決算常任委員会について、神奈川県横須賀市議会へ視察(7/25)	議会運営委員会	第16条
	政策研究審議会開催(7/26)3件を諮問	附属機関の設置	第24条
	みみ丸カフェ開催(7/31)	議会広聴広報の充実	第22条
	議員研修会「一般質問・政策形成に使える議会図書室」開催(8/18)	議員研修の充実強化	第18条
平成28年9月定例会	地方創生に関する特別委員会における提言	委員会の運営等	第15条
	市民文教常任委員会議案審査における参考人招致	市民参加及び市民との連携	第6条
閉会中	議員研修会「地域のための図書館とは～図書館の本来と将来を考える～」開催(11/7)	議員研修の充実強化	第18条
	政策研究審議会開催(11/10)諮問に係る答申、議員との意見交換	附属機関の設置	第24条
	閉会中の文書質問(健康福祉常任委員会)	閉会中の文書による質問	第11条
	議会報告会開催(11/11、19)	議会報告会	第7条

平成28年 12月定例会	議場コンサートの実施（12/1開会前） 総務経済常任委員会による提言（2件）	議会広聴広報の充実 委員会の運営等	第22条 第15条
閉会中	議会改革の取り組みについて、東京都北区議会（1/17）、岩手県 滝沢市議会（1/18）、北海道函館市議会（1/19）へ視察	議会運営委員会	第16条
	健康福祉常任委員会による政策討論会開催（1/21）	政策討論会	第14条
	総務経済常任委員会による提言（2/14）	委員会の運営等	第15条
平成29年 3月定例会	予算特別委員会を設置（新年度予算案件10件を審査）	委員会の運営等	第15条
	質疑及び一般質問を試行的に実施	議員と市長等執行機関の 関係	第9条
	健康福祉常任委員会請願審査における参考人招致	市民参加及び市民との連携	第6条
	予算特別委員会による付帯決議	委員会の運営等	第15条
閉会中	議会報告会開催（5/17、27）	議会報告会	第7条

3 議会の活動状況

項目			28年度		27年度		比較
議員提出議案			9	件	14	件	▲5
付帯決議			3	件	1	件	2
修正可決			1	件	0	件	1
委員会提出議案			2	件	0	件	2
委員会提言			5	件	0	件	5
6月定例会	傍聴者数	本会議	181	人	167	人	14
		委員会	22	人	8	人	14
7月臨時会	傍聴者数	本会議	7	人		人	
		委員会	5	人		人	
9月定例会	傍聴者数	本会議	204	人	105	人	99
		委員会	21	人	28	人	▲7
12月定例会	傍聴者数	本会議	161	人	208	人	▲47
		委員会	17	人	3	人	14
3月定例会	傍聴者数	本会議	226	人	168	人	58
		委員会	69	人	28	人	41